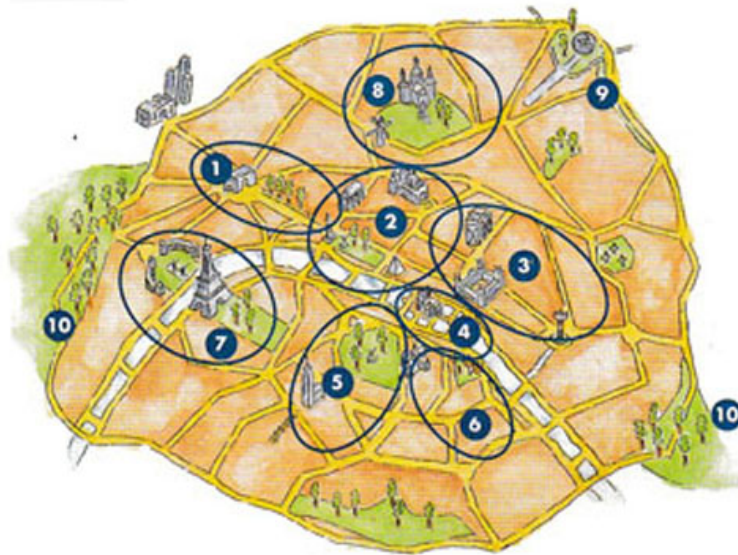


## 3347 パリの魅力とは：観光客数世界一

エリアガイドや地球の歩き方、季刊映画宝庫「パリ・ヨーロッパ 映画 旅の絵本」

「パリでしたい 100 の事」その他いろいろな資料がある。中でも古いが、フランス政府観光局からの「ひとり歩きの PARIS」の資料がわかりやすく、画像の参考にもなるのではと、掲載させていただいた。



- ① Champs-Élysées/Arc de Triomphe/La Défense p12  
シャンゼリゼ大通り/凱旋門/ラ・デフアンヌ
- ② Concorde/Louvre/Madeleine/Opéra p14  
コンコルド広場/ルーブル/マドレーヌ/オペラ
- ③ Les Halles/Marais/Bastille p16  
レ・アル/マレ/バスティーユ
- ④ Ile de la cité/Ile St-Louis p18  
シテ島/サン・ルイ島
- ⑤ St-Germain-des-Prés/Montparnasse p20  
サン・ジェルマン・デ・プレ/モンパルナス
- ⑥ Quartier Latin p22  
カルチエ・ラタン
- ⑦ Palais de Chaillot/Tour Eiffel/Les Invalides p24  
シャイヨ宮/エッフェル塔/アンヴァリッド
- ⑧ Montmartre p26  
モンマルトル
- ⑨ La Villette p28  
ラ・ヴィレット
- ⑩ Les Bois de Vincennes et de Boulogne p29  
ヴァンセンヌの森/フローニュの森

パリの街はご存知のように 20 区に分かれ、ルーブル美術館周辺の 1 区を中心として、  
時計回りに番号が渦巻き状についている。数字が大きくなるほど  
中心から遠くなる。古い統計だが、1990 年、人口は約 215 万、東西に流れる  
セーヌ川によって二分され、36 の橋、大きさは、東京山手線の内側とほぼ同じ面積。

約 1 ヶ月の滞在、短い、長い、いろいろご感想はあるかと。  
今回のパリ滞在、一貫性なく、目的は、思いつくままにパリの街をさまようこと、  
世界一、観光客数が多いフランス・パリの魅力とは何か。

自然や地方と都会の違い、日本との違い、これまでと違った生活への興味。  
感性や感情に触れたものを画像とメモで記録すること。  
今の久楽には、理屈はいらない。余分かもしれないがわかりやすいかと下記書き出した次第。

最小限、下記紹介されている各区の特質は再確認。1995 年、2013 年、2018 年、  
どのように変化したか、今の世界情勢を知るには、  
フランス・パリが語ってくれと、1 ヶ月パリ 20 区を探訪した次第。

- 1 区：ルーヴル美術館、パレ・ロワイヤル、チュイルリー公園があるパリの中心。
- 2 区：オペラ座周辺。3 区：問屋街と昔のパリの面影が残るエリア。
- 4 区：歴史と新しさが調和したマレ地区。5 区：ソルボンヌ大学、学生街、カルチェ・ラタン
- 6 区：おしゃれなパリジャンが集まるサン・ジェルマン・デ・プレ。
- 7 区：エッフェル塔、アンヴァリッド、名所と官僚邸が並ぶ高級住宅街。
- 8 区：シャンゼリゼ通りがある最も華やかな一帯。
- 9 区：デパートのプランタンやギャラリー・ラファイエットがある商業地区。
- 10 区：北駅、東駅、多様な人種が交錯する地域。11 区：ナイトスポットのバスティーユ。
- 12 区：近代的な開発が進んでいるベルシー地区。13 区：チャイナタウン新開発地区。
- 14 区：エコール・ド・パリの画家たちが住んだモンパルナス界隈。
- 15 区：高層ビルと閑静な住宅街。16 区：観光客で賑わうシャイヨー宮とバッシェパリ西部。
- 17 区：8 区寄りの高級住宅街と 18 区寄りの庶民的地区。
- 18 区：サクレ・クール寺院のあるモンマルトルの丘。
- 19 区：ラ・ヴィレット科学産業都市と音楽都市、シテ・ド・ラ・ミュージック。
- 20 区：パリの下町ベルヴィル。エスニックな雰囲気のある地域。